

2020年9月15日  
東京製鐵株式会社

宇都宮工場および九州工場における太陽光発電設備投資についてのお知らせ

当社は、このたび宇都宮工場および九州工場における屋根置き型太陽光発電への投資を以下の通り決定致しましたのでお知らせ申し上げます。

拠点名	発電能力	完成予定時期
宇都宮工場	2,000kW（年間200万kWh）	2021年2月
九州工場	800kW（年間80万kWh）	2021年2月
（ご参考） 田原工場	7,000kW（年間700万kWh）	2021年2月
計	9,800kW（年間980万kWh）	-

当社では既に屋根置き型としては日本最大級となる発電能力 年間700万kWhの太陽光発電設備の田原工場での設置工事を開始し、2021年2月の完成を予定しております。今回投資を決定した宇都宮工場および九州工場の太陽光発電設備を加えると、自社保有設備の発電能力は年間980万kWhに達する見通しです。また、現在岡山工場においても、太陽光発電設備の投資を検討しております。当社の太陽光発電設備からの電力は全量を自社設備にて使用し、レジリエンスの強化と再生可能エネルギーの活用促進をはかります。

一連の設備投資は、当社の長期環境ビジョン「Tokyo Steel EcoVision 2050」に示した、以下のアクションプランを具体化したものです。

- ・省エネルギー投資の積極的実施や生産・調達・輸送プロセス見直し等によりCO<sub>2</sub>排出原単位の毎年1%以上の削減を目指す。CO<sub>2</sub>排出量原単位を2013年度比で、2030年に▲40%、2050年に▲80%を目標に活動していく。
- ・再生可能エネルギー等の非化石エネルギー起源の電力普及にあわせ、使用拡大を進めていく。

当社は今後も「Tokyo Steel EcoVision 2050」を推進していくことで、脱炭素・循環型社会の実現に貢献してまいります。